

# 人口減少時代に挑戦する政策パッケージの 検証・評価を実施しました！

町では、全国的に進んでいる深刻な人口減少問題に対し、本町を「特区」と見立て、町民の皆様のライフサイクル（生涯・暮らし）を応援する政策をひとつにまとめた「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」を実践し、より住み良いまちづくりを進めることでこの人口減少問題に挑戦しています。

平成26年からスタートした「政策パッケージ」が3年を経過するにあたり、「やりっぱなし」にならないよう、良いモノは継続や拡充、効果の薄いモノは縮小や廃止するなど、さらに住み良いまちづくり政策とするための事業検証、評価を行いました。

検証・評価にあたっては、広報しべつ10月号に折り込んだアンケートの集計のほか、各産業団体や福祉団体、教育機関、金融機関、労働者組織、町内会、報道機関などで構成する「標津町総合戦略推進会議」や、「標津町子育て・まちづくり女性懇談会」などにおいて、様々な視点からご意見をいただき、協議しました。

## アンケート回答者情報

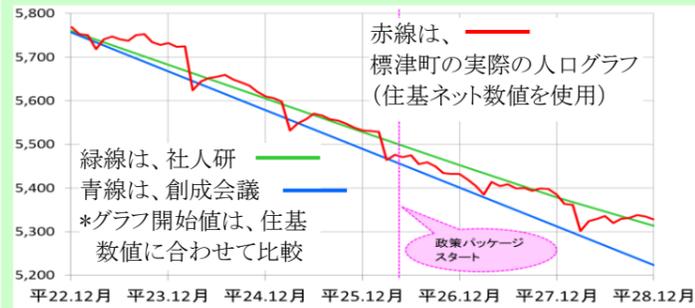
139世帯（世帯員数は約340人）から回答をいただき、回答者の性別、世帯構成、世帯員の年齢など、幅広くほぼ全ての区分の意見が、本アンケートの回答に反映されています。

- ①性別割合 男女50%ずつ、ちょうど半分となりました
- ②世帯構成 単身世帯や子育て世帯、3世代同居の世帯など、様々な世帯から回答いただきました
- ③世帯員の年齢 10才未満から70才以上まで、幅広い年齢層のご家庭から回答いただきました

## 本町の人口の動き

※各年の1/1～12/31の人口検証データ

国立社会保障・人口問題研究所と日本創成会議で示された人口減少の予測グラフに、本町の実際の人口のグラフを照らし合わせると、政策パッケージ開始後は各機関が予測したよりも減少が抑制されています。



本町のここ数年の人口の動きを見ると、平成27年と平成28年の社会増減が、平成25年以前7年間平均の▲48と比較して少ない減少にとどまり、人口流出の抑制がみられます。

■標津町住基ネットデータ ※増減の内訳（人）

12月末人口	人口	増減	自然増減	社会増減	その他増減
平19	5,942	▲96	▲38	▲59	1
平20	5,875	▲67	▲19	▲49	1
平21	5,817	▲58	▲16	▲42	0
平22	5,768	▲49	▲25	▲26	2
平23	5,731	▲37	▲14	▲25	2
平24	5,609	▲122	▲38	▲87	3
平25	5,530	▲79	▲36	▲45	2
平26	5,430	▲100	▲38	▲66	4
平27	5,382	▲48	▲44	▲9	5
平28	5,325	▲57	▲23	▲38	4

※自然増減とは、出生から死亡を差し引いた数  
※社会増減とは、転入から転出を差し引いた数  
※その他増減は、外国人の帰化などの数

## 政策パッケージに必要な事業費

政策パッケージを今後10年間継続した場合に必要な経費と財源のシミュレーション（予測・計画）は、下表のとおりです。

本町の財政の健全性は、道内で上位に位置しており、政策パッケージを継続しても地方財政制度が大きく変わらない限り、将来もこの財政状況を維持できるものと考えています。

なお、平成27年度末の基金残高（標津町の貯金）は約52億円でした。

■政策パッケージを毎年実践するために必要な経費と財源シミュレーション

年度	必要な事業費	うち一般財源
平26	1億1,625万円	5,040万円
平27	1億5,740万円	3,931万円
平28	1億7,957万円	5,290万円
平29	1億6,410万円	5,510万円
平30	1億6,350万円	5,450万円
平31	1億5,500万円	5,500万円
平32	1億5,500万円	5,500万円
平33	1億5,468万円	5,568万円
平34	1億5,400万円	5,500万円
平35	1億2,950万円	5,550万円
平36	1億2,950万円	5,550万円
平37	1億2,950万円	5,550万円
平38	1億2,950万円	5,550万円

※一時的な事業（道路整備など）を除く

政策パッケージ  
H26.4月から開始

政策パッケージの検証にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。  
この結果を参考に、より住み良いまちづくりを今後も推進していきます。

## アンケート集計データ・総合戦略推進会議検証

※データは、有効回答のみを使用

アンケートでいただいた回答を横棒の満足度グラフで集計し、各事業の所管部署及び「総合戦略推進会議」における評価をS～Dの5段階（+）でまとめました。パッケージ全体では、「満足」「やや満足」が46%、「不満」「やや不満」が15%、「その他、わからない、など」が39%となっています。

自由意見では、「子育て支援はとても充実している」「子どもは町の宝、ぜひ支援の充実を」「標津町民で良かった」といった声や、「ここまでやる必要はあるのか」「働ける場の確保を」「事業の浸透、PRを」「財政は大丈夫か」など、多くの声が寄せられました。

「総合戦略推進会議」では、「人口も、高校などの資源も、失ってからでは遅い、先を見て取り組むべき」「町外の方から政策パッケージについて高い評価の声がある」「もっと効果的な情報発信を」など、健全な財政運営の確認と、政策の効果的な推進について意見が挙げられました。

	満足・やや満足	不満・やや不満	その他、わからない、など	評価
◎ 政策パッケージ全体	46%	15%	39%	
1 結婚活動の応援強化	22%	21%	57%	C+
2 出産祝い金の給付	55%	21%	24%	B
3 乳幼児紙おむつ購入助成	50%	23%	27%	B-
4 標津こども園の平29開設	62%	9%	29%	B
5 保育園の無料化または負担軽減	64%	16%	20%	A
6 幼稚園の完全無料化	67%	14%	19%	A
7 小、中学生の学習教材費の助成	69%	10%	21%	A-
8 こども医療費助成	74%	10%	16%	A
9 標津高校での学びの支援	55%	23%	22%	S
10 住宅取得助成	55%	11%	34%	B+
11 住宅リフォーム助成	55%	17%	28%	B
12 住まい・暮らしの資源の利活用	42%	18%	40%	B-
13 介護福祉関係施設の平28供用開始	47%	11%	42%	B
14 高齢者福祉施設利用者の負担軽減	58%	12%	30%	B
15 介護予防事業の推進	43%	8%	49%	B-
16 高齢者等の除雪支援充実	39%	22%	39%	C
17 若者の健診・保健指導の推進	49%	9%	42%	B
18 医療技術者等の確保	52%	7%	41%	B
19 避難道路・防雪柵の整備	44%	13%	43%	B
20 新・地域防災計画の実践	40%	14%	46%	B
21 ふるさとの未来を担うリーダーづくり	28%	15%	57%	B-
22 新しい農業経営者づくり	37%	9%	54%	A
23 農業協業法人の支援	32%	10%	58%	B
24 水産資源対策の強化	37%	10%	53%	B
25 標津ブランドづくり	33%	23%	44%	B
26 標津川の環境保全等	41%	16%	43%	B
27 起業支援補助拡充	42%	9%	49%	A-
28 再生可能エネルギーの活用等	37%	13%	50%	A
29 交流人口の拡大による地域の活性化	30%	22%	48%	B
30 情報発信の強化等	25%	24%	51%	B-